

プログラム名

東京慈恵会医科大学リハビリテーション科専門研修プログラム

募集定員

6名

研修期間

3年

プログラムの特徴

東京慈恵会医科大学リハ科専門研修プログラムは、リハ医療においてリーダーシップを発揮することができる専門医を養成することを目的に、経験豊富な指導医のもと、幅広い症例経験を通してリハ医学および医療に関する専門的な知識や技能を習得し、専門医として信頼される資質や行動力を有する医師を育成します。専門研修基幹施設である東京慈恵会医科大学附属病院と、多くの専門研修連携施設および専門研修関連施設からなるプログラムであり、これらの施設をローテーションしながら、リハ科専門医に必要な知識と技術を豊富な症例経験を通して学ぶことが可能で、我が国の数あるプログラムの中でも数少ない充実したリハ科専門研修プログラムです。そして3年間の研修を修了した時点では、自立していかなる問題にも対処しうるリハ科専門医が養成されるように、責任を持って指導します。

基幹施設である東京慈恵会医科大学附属病院は1000床を超える病床を有する特定機能病院で、全ての診療科が急性期医療を中心に高度医療を担っており、急性期から行われるリハ治療が経験できます。入院患者の約40%がリハ治療を受けており、疾患の内容は多岐にわたり、研修中に多くの症例を経験することができます。また、我が国で20余りしかないリハ医学講座のひとつで大学院博士課程を有しており、希望する場合には専攻医の期間中に大学院へ進学して、研修を行いながら研究活動に参画することも可能です。

連携施設および関連施設には、三次救急指定病院、回復期病棟をもつリハ専門病院や総合病院、障害者施設をもち脊髄損傷や切断、小児リハなどの専門性の高い研修ができる総合リハセンター、在宅医療も行っているリハ病院など29施設があり、超急性期から生活期(維持期)に至

るまでのリハ治療を満遍なく経験できます。これにより3年間の研修プログラムで必要とされる各分野の症例は十分に経験することが可能です。さらに生活期(維持期)リハについては、連携施設に付属するデイケアセンターや訪問看護センターを通じて在宅診療に携わり、多職種と連携を図りながら実践的な地域リハ医療も経験することができます。